

# 第1回きずなづくりトーク（東小学校区） 概要記録

平成24年6月5日  
市役所

発言者	発言要旨
テーマ みんなでふれあい創出	
自治会長	自治会としてどうやって弱者の救済を行っていくかが最大の課題。市でも要支援者の情報を自治会に通知してくれるが、そのあとどうするかが問題。大社町のように組織ができていれば良いが、東本町1丁目はつながりができていない。向こう3軒両隣、隣組の助け合いをもう一度思い出し、近所付き合いを強化したい。昨年から、個人情報問題を考慮しながら、隣組の氏名、家族数、支援の希望の有無を調査している。東本町1丁目は300世帯あるが、20数名が災害時の支援を要望した。基本的には、近所間で要支援者を見守るようにしてほしい。名簿は作成から1年経ったので、現在情報の更新を行っている。老人会、子ども会、自治会ともに役員になってくれる人がいない。自治会として、名簿の作成を民生委員に直接依頼していないが、民生委員も独自に活動を行っている。
自治会長	南二日町は学区が東と南に分かれていることがネック。仲間意識を高めるために、子どもは地域の宝事業で餅つき大会を行った。今年は、三島をよく知ってもらうため自治会ウォーキングを企画したが、応募者がほとんどなかった。企画は自治会の企画員3人のみで行った。組長はメンバーの状況を名簿で把握しており、名簿の更新を5月に行った。
自治会長	大宮町2丁目は年間を通していろいろな行事をやっているの、きずなが深いと思う。町内は334世帯あるが、6ヶ月間で3名の方が孤独死してしまった。一人暮らしの方は窓を開けたり、洗濯物を干してきてくれたりすると、パトロールの時に元気なことを確認できる。大場川の草刈をしているが、川が汚くて虫がわいてしまった。川への降り方がわからなくて草刈できない場所がある。誰に頼んでやってもらえばよいのか。
民生委員	アパート暮らしの方で、人との付き合いがまったくない人を何人か知っている。そういう人は全町内にいると思う。三島市で去年、25名が孤独死したことを聞いて驚いた。民生委員は時々訪問するだけなので手に負えない。近所で見守っていくことが必要なので、自治会から依頼してほしい。
自治会長	民生委員、自治会だけでは孤立者の面倒を見きれない。市の政策で、近所で見守ろうとする雰囲気作りをしてほしい。
老人クラブ	孤独死とはどういう意味か？おじが隣に住んでいたが、夕食後亡くなって、気づいたのは翌日だった。これも孤独死なのか？頻りに話をしていたのに、すぐに気が付けなくて残念だった。
自治会長	東町では、8月に納涼祭、1月にどんど焼きを毎年行って親睦を図っている。私たちの部落では孤独死するような人は少ないと思う。市営住宅などでは多いのでは。老人会は毎年忘年会を1泊で行っている。子ども会は高学年がドッジボール大会で優勝した。
自治会長	自治会長としては、向こう三軒両隣、きずなを深めてやっていこうということをもっとにしている。東本町2丁目はまとまりが良い。防災訓練には300人程集まってくれ、節分際なども行われている。イベント後にお酒を飲みながら親睦を深めることも大事。要援護者のリストを取ったが、それをどう扱っていくかが課題。
自治会長	自治会の総会では、昨年亡くなった15人に黙祷を捧げた。子どもは地域の宝事業でお祝いした子どもは3人。この15：3という数字は辛い。町内では、しんすい祭り、防災訓練、餅つき大会などを行っている。東部では、自治会同士のきずなが強い。合同で県の防災センターに研修に行くが、参加予定者は48名。主婦の参加が意外に多い。

発言者	発言要旨
自治会長	町内の80%以上がアパート。持ち家世帯は20数件しかない。山中城祭りに便乗して、山中城ウォーキングに参加した。大場川の草刈をしたが、その時15世帯から60名ほどが参加してくれ、ふれあいがあったと思う。アパートの住人の顔がわからない。
民生委員	要援護者は調査区域で50数世帯あったが、今年その中から6名が亡くなってしまった。地域性もあって、家族に囲まれて暮らす高齢者もいれば、一人暮らしで、近所も高齢者だらけという環境で暮らす高齢者もいる。高齢者が増えて、支援が難しくなっている。自治会と日頃から話し合っ、災害時の対策を考えていきたい。
幼稚園PTA	自分の親のことを思い出した。父が市外で一人暮らしをしているが、三島市ほど高齢者を気にかけていないと思う。今日の話聞いて、三島市は暖かい町だと思った。
子ども会	シャギリを夏に行うが、50代の方に指導してもらっている。老人会(きずなの会)からはお知らせが届いているので活動内容は把握しているが、まだ子ども会と老人会が直接活動するという機会はない。
老人クラブ	町内に以前老人会が2つあったが、1つの老人会の会長が高齢で辞めたいと申し出た。老人会存続のために活動したとき、老人会という名前が嫌われていることに気づいた。老人会は60~70代の若い人で動かした方がよい。65歳になったら強制的に老人会に入ってもらえばよいのでは。毎月1回会報を発行しており、活動内容と健康へのアドバイスを載せている。町内では防災名簿が10年前前から作られていて、4年に1度更新している。
小学校PTA	毎日朝街頭に立って子ども達を見守ってくれている人に感謝している。37年三島に住んでいる。近所のおじさん、おばさんが対等な立場で話してくれることがうれしい。最近の子どもは、自分たち世代と比べて外で遊んでいないのではないか。遊ぶ場所がない、時間がないことが原因では。小学校で体を動かすイベントを開催することを校長たちと協議中。
スポーツ推進委員	体育振興会では毎週金曜日の夜にトリム教室、ナイトウォーキングなどを行っている。イベント開催には、参加者を募ることが大きな問題で、金曜日の夜に開催する場合、高齢者は参加しづらい。南二日町では子ども会がなくなってしまった。運動会の開催方法について考えたい。例えば、チーム分けを地域別に大きくくりにしたい、紅白に分ける、東西南北に分けるなど。
保健委員	保健委員としては、町内別健康相談会を開催し、普段測れない骨密度、血流などを測定している。ふれあいウォーキング大会を開催しており、回覧も回しているが町内からの参加者が少ない。皆、個人では活発に運動してくれているので、健康面では大丈夫だと思う。一人で散歩していた方が倒れてしまったが、近所の方が助けてくれたという事例もあり、皆で見守り合うことが大事。
中学校教頭	南中学校では2002年からMLS活動が行われている。地域と学校が協力して安全な学区を作ろうという活動。MLSシニアを構築し、月に一度程度、地域の代表者や活動への賛同者に街頭に立ってもらう活動を行っている。南小学校におやじの会を立ち上げてほしいという話があったので、MLSの再構築と合わせて取り組んでいきたい。
商工振興会	自分たちのことは自分たちで守ろうという意識が大事。近くで人が倒れたとき、誰も救命処置ができなかった。自分の家族でなければ皆遠目で見てしまう。救命講習などを受けて、AEDなどを使えるようにしてほしい。防災訓練で使うために購入した設備を年1度しか使わないのはどうか。使わないと使えるようにならないし、さびついて駄目になってしまう。
自主防災会	私は8年ほど防災委員をやっている。専任防災委員は3~5年ほどの任期がある。自治会の役員は必ず防災委員もやるようになってきている。活動としては、町内をじっくり歩いて周り、消火器の位置、家の配置などの土地状況を確認した。防災用具は、毎月動かすようにしている。浄水器は高かったが、川の水が使えないなど問題点があって役に立たない。一輪車、リアカーなどは役に立つ。防災委員は任期が長いほうが良いと思う。

発言者	発言要旨
中学校教頭	9月2日に合同の防災訓練を行うので、部活動を中止して参加させたいと考えている。参加した中学生には、ポンプや消火器の使い方を教えてほしい。9月3～5日くらいに大事なテストがあるので参加してくれるか心配。
自主防災会	3年前から大宮町2丁目単独で1次避難所を設けてリーダーを決めて避難訓練を行っている。避難所に来てくれない場合は、リーダーに安否を確認しに行くように指示している。名簿は作っているが、住民状況はすぐ変わるので、1次避難は有効な手段。訓練用品は、予算の問題もあるが、ポンプ、消火器、AEDなどを揃えている。
スポーツ推進委員	トリム教室を毎週金曜日に開催しているが、通知には「年齢は問いません」と標記した。元気な高齢者は来てくれるが、一人暮らし、体が弱い高齢者は参加が困難だと思う。スポーツを通じて高齢者と交流できれば良いと思っている。小学校のPTAをやらせてもらっているが、地域との交流のため、夜の学校探検、東校区のウォークラリー、高齢者を呼んで昔の遊びを指導してもらったり、消防、警察との交流を行った。
民生委員	民生委員として、心配な高齢者を2人知っていたが、内一人は同居人ができて3倍くらい元気になった。同居人がいれば孤独死はしないので、一人暮らしの高齢者を支援するよりも、同居人ができるように支援すればいいと思う。
女性懇話会	洋服、着物など自分の好きなものを作っているのが、皆いきいきしている。今日の会議で自治会などの活動を知ることができて参考になった。
老人クラブ	現在79歳だが、ソフトボールの審判を35年間やっており、まだ現役。散歩中に子どもに声かけをしているが、不審者だと思われる。声かけ運動のバッチをしているが見てもらえず、声かけを止めてしまった。南中の女子生徒は自分から声をかけてくれてうれしい。
子ども会	声をかけてくれるのはありがたいことだが、世の中が物騒になっているので警戒してしまう。声をかけられる雰囲気を作っていくことは続けていかないとなくなってしまう。どうすればいいのか。
中学校教頭	3つの校区で連携してあいさつ運動を行っており、南中はあいさつ運動推進校の認定を県から受けている。毎週当番制でPTAの方があいさつ運動をしてくれる。学校便りを通して地域の人に声かけを行ってほしいとお願いする。
体育振興会	AED講習を年3回行っている。資格は取れないが、消防署から講師を招いてしっかり指導を行う。東小学校の運動会では、放送設備がよくないので、声が途切れ途切れ。9校区のドッジボール大会を審判で回っている。校区によっては、子1人に対して応援2人のところもあれば、子1人に対して応援0.5人くらいのところもある。子どもの頑張りをもっと見てあげてほしい。